

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年12月26日

保護者アンケート回収率 92.59% (保護者の評価欄は回収分で占める割合です)

事業所名：すまいる・きつず曾根

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員は10人です。制作活動や集団活動(ボウリング遊び・サーキット遊び・音楽体操・ドイツゲーム等)など安全に実施出来るよう、スペースを十分に確保し有効に使用しています。また、学習や訓練などの個別活動は、静かな環境で集中出来るよう、学習室でマンツーマンで取り組んでいます。	はい…76% どちらともいえない…8% わからない…16% ・体操や運動等するには狭い。 ・今の場所に移転された時の見学会に都合が悪くて行けなかったため、お部屋を見たことがなく、判断できません。すみません。	日常の活動では、スペースの活用方法を工夫して取り組んでいます。現在はコロナ禍ですので感染症対策を徹底し、密にならないように対応しています。事業所の周知については、面談やサービス担当者会議等で来訪して下さった時に事業所内を見学して頂くようにしております。移転前は、事業所で親子行事などを行っていましたが、移転後は公共施設を利用し、広い環境で楽しく過ごせるよう工夫しています。今後も安全な環境で楽しく活動出来るよう取り組んでいきます。
	2 職員の適切な配置	基準以上に人員を配置し、安全に過ごせるようにしています。	はい…96% わからない…4%	引き続き十分な人員を配置し、様々な変化などに対応出来るよう、児童に寄り添ったきめ細やかな支援を目指していきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	門扉から玄関以外の室内については、ほぼバリアフリー化出来ております。制作物を入れるキャビネットは契約児童の人数分を準備し、構造化することで、児童が当日の取組内容を声掛けだけでなく視覚的にも理解し、先の見通しを立てて安心して活動に取り組めるよう工夫しています。また、各部屋には視覚カード等を配置し、児童がスムーズに行動出来るよう環境整備しています。	はい…76% どちらともいえない…4% わからない…20%	面談やサービス担当者会議などで来訪して下さった時に、普段児童がどのような過ごし方をしているのかを説明し、事業所内を見学して頂くようにしています。今後もそのような機会を増やしていきます。また児童一人一人が安心して通所して頂けるよう、環境整備も継続して丁寧に取り組んでいきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	従来の職員業務マニュアルを日々見直し改訂し、環境整備に漏れがないよう丁寧に取り組んでいます。今年度は更に感染症対策として消毒用チェックリストも整備し、室内だけでなく送迎車についても使用後は換気・消毒作業を徹底して行っています。室内には空気清浄機だけでなく、加湿器で次亜塩素酸水を噴霧しております	はい…88% わからない…12%	今後も感染症対策を徹底して行い、清潔に心地よく過ごせるよう継続して取り組んでいきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	児童退所後には業務の振り返りを行ったり、月1回のスタッフ会議では全従事者が集まり、積極的に意見交換を行い、業務改善を行っています。		今後も従事者間で意見を出しやすい環境作りを行い、継続して取り組んでいきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価機構による評価を受け、評価内容についてはセミナーを開催し、業務改善に繋がっています。また2018年には県の実地指導も受け、同様に全従事者で確認し業務改善に繋がっています。		今後も定期的に第三者に外部評価を受け、業務改善を行っていきます。

	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	毎年年間計画を立て、内部・外部に問わず積極的に研修に参加しております。ただ、今年につきましては、コロナ禍ということもあり、内部研修を中心に、オンラインでの外部研修を受講しております。		来年度も年間計画を立てながら、内部研修だけでなく外部研修にも積極的に参加し、職員の資質の向上を目指していきます。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	契約時にアセスメントを行い、利用開始後はケース会議などで課題を分析しています。そしてモニタリングを繰り返し行うことで、児童・保護者のニーズ・課題を確認し、放課後等デイサービス計画を作成しています。その後、保護者との面談で説明・調整し、計画に同意を頂くようにしています。	はい…100%	今後も丁寧にアセスメントを行い、モニタリングを繰り返し実施することで、児童と保護者のニーズを確認しながら課題分析し、放課後デイサービス計画を作成していきます。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	具体的な支援目標の中に、児童の状況に応じた個別・集団活動を組み合わせた内容を放課後等デイサービス計画に盛り込み、支援を実施しています。	はい…100%	今後も児童の状況に応じ、個別活動・集団活動などを組み合わせた内容を盛り込み計画を作成していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	発達支援・家族支援・地域連携支援など大項目を決め、それぞれに具体的な目標を設定し、支援内容や留意点、支援期間などを記載しております。		今後も具体的な目標や支援内容、留意事項や支援期間などを継続して記載していきます。
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	放課後等デイサービス計画に沿った支援が出来るよう、面談で保護者に同意を頂き次第、児発管が全職員に計画内容を説明し把握できるようにしています。また、計画内容を個別記録表(フローシート)に記載し、日々計画内容を確認し支援出来るようにしています。		今後も放課後デイサービス計画に沿った適切な支援を実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムについては、年間計画を作成し、毎月のスタッフ会議においてチーム全体で詳細を立案しています。その後、それぞれの活動の計画書を作成し、実施後は報告書を作成し、実施結果や改善点を記載しています。		今後もチーム全体で色々な視点からプログラムを立案していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日授業後と休業日ではサービス提供時間が異なりますので、活動内容も違います。利用状況や天候によっても随時プログラムを変更しています。長期休暇には、児童の経験を増やしていくため、就労施設見学や工場見学、ドライブや映画上映体験、買物学習や事業所間交流などを取り入れています。今年度についてはコロナ対策の為、体験学習は例年より少なくなっています。		今後も、平日、休業日の時間に合わせたプログラムを立案していきます。また長期休暇には、外出や体験プログラム、事業所間交流等を取り入れ、児童の経験を増やしていきます。そして楽しい時間を過ごし成長につながるよう支援していきます。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	制作・学習・訓練だけでなく、ボウリング・サーキット遊び・音楽体操・リトミック・ラジオ体操・散歩などの身体活動を取り入れたり、SSTに繋がるドイツゲームも取り入れています。また、月2回の音楽療法など外部講師にご指導いただいております。また、月1回はクッキングにも取り組んでいます。	はい…100%	今後もプログラムが固定化しないよう、様々なプログラムを取り入れていきます。

提供 (続き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始までに時間を決め職員全員でミーティングを行っています。各プログラムの担当者・内容・支援目標などを決め、児童を受け入れる準備を行っています。当日通所する児童の支援内容や連絡事項等も共有するようにしています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎後職員が揃ったタイミングで、全員で振り返りを行っています。児童・指導員の良かったこと、悪かったこと、改善点、ヒヤリハット等を話し合い、次の支援に活かせるよう記録に残しています。また送迎時に保護者から伺った内容も報告し、情報共有出来るようにしております。振り返りの記録は、翌日以降に出勤した職員も必ず確認し、情報共有出来るようにしています。		今後も職員間で情報の共有化出来るよう、継続して取り組んでいきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別記録表(フローシート)に必ず記録しています。その記録をもとに、ケース会議やモニタリングを開催し検証したり、放課後等デイサービス計画の立案に役立てております。		今後も継続して取り組んでいきます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にケース会議やモニタリングを実施し、保護者に内容を説明させて頂いております。また説明時には、ご家庭や学校での様子をお伺いし、ご本人の成長や課題、ご本人・保護者のニーズについてもお伺いし、放課後等デイサービス計画に盛り込み見直すようにしております。		今後も継続して放課後等デイサービス計画の見直しを行っていきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	保護者・学校・相談支援専門員・関連事業所などと連携し統一した支援が行えるよう、サービス担当者会議には積極的に参加しております。基本的に児発管が出席しておりますが、必要に応じ直接支援している職員も同行しております。		今後も保護者・学校・相談支援専門員・関連事業所などと連携し、統一した支援を行えるよう積極的に参画させて頂きます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	現在は児童発達支援事業は休止中のため行っておりません。		現在は児童発達支援事業は休止中のため行っておりません。

関係機関との連携	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	在籍児童の最高学年が中学校3年生で対象者がいないため行っておりません。		卒業する児童が在籍する場合には、保護者に同意を得て、本所での支援内容などについて情報を提供していきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	今年度は新型コロナウイルス感染対策の為、研修の開催がほとんどありませんでした。		今後も継続して積極的に受講を促進していきます。コロナ感染が継続している場合は、オンライン研修などを中心に受講していきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	放課後児童クラブや児童館との交流は、現在行っておりません。	はい…32% どちらともいえない…8% いいえ…8% わからない…52% ・交流の機会を設けているのか不明ですが、デイサービスにおいては必要ではないと考えています。現状に満足しています。 ・なかなか難しいことだと思いますが、あれば嬉しいですし、なくても子どもが楽しく過ごせているので。 ・今はコロナで出来ないと思いますが、事業所間での交流はあって刺激になっていいと思います。	児童・保護者のニーズを考慮し、検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地元自治会に入会し、事業所についてご理解を頂くとともに、災害時の連携などお願いしております。また地域への発信としてユアアイ帆っとセンター等に児童の作品展示をお願いしております。		今後も地域行事などに児童の作品を出展する等、本所での活動を知っていただき、ご理解いただけるように取り組んでいきます。また、地域に開かれた事業所運営を行うため、コロナ等の感染症の状況を鑑み、地域住民の招待などを検討していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容や利用者負担額等につきましては、重要事項説明書に記載し、契約時に内容を説明させて頂いております。また、行事等で自己負担が発生する場合には、事前にご連絡をさせて頂いております。	はい…100%	今後も継続し丁寧に取り組んでいきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に放課後等デイサービス計画を作成し、保護者に説明後、同意を頂いております。その後は半年に1回(必要な時には随時)モニタリングを実施後に計画を見直し、面談で説明させて頂いたのち、同意を頂いております。	はい…100%	今後も継続し丁寧に取り組んでいきます。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	通所日に連絡帳を通して、当日の様子や成果があったことをお伝えしています。また送迎時にお伝えしたり、面談や担当者会議でもお伝えしております。必要な時には随時お電話で対応させて頂いております。	はい…72% どちらともいえない…12% わからない…16%	今後も継続し丁寧に取り組んでいきます。また、ペアレントトレーニングについては、更に指導員がスキルアップ出来るよう研修などを行って取り組んでいきます。

4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	児童の状況や課題については、連絡帳や送迎時にお伝えしています。また、定期的にモニタリングを行い、保護者に直接お伝えし、保護者からもご家庭や学校での課題などについてお聞きし共通理解するようにしております。急を要する課題については、お電話でお伝えするようにしております。	はい…100%	今後も継続して保護者と共通理解出来るよう取り組んでいきます。
5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的な面談だけでなく、相談には随時対応し、保護者の思いに寄り添うようにしております。また、必要な時には、学校や相談支援専門員、関連事業所と連携し対応出来るようにしております。	はい…88% どちらともいえない…12%	今後も保護者の思いに寄り添いながら、継続して支援していきます。また必要な時には児童を取り巻く社会資源と連携し支援していきます。
6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	例年、保護者会は年に1回開催しております。また夏休みや12月に親子行事を行い、保護者同士の交流が出来る時間を設けるようにしております。また今年度から茶話会を開催し、気軽に保護者に事業所にお越しいただき、保護者同士の交流の場として役立てて頂きたいと考えておりましたが、新型コロナの影響で、今年度は実施出来ておりません。	はい…64% どちらともいえない…16% いいえ…4% わからない…16%	今年度は新型コロナの影響で、実施出来ておりませんが、今後は開催方法を模索しながら、保護者同士の連携が出来る取り組みを検討していきます。
7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談マニュアルに沿って、迅速かつ適切に対応出来るようにしております。契約時には、本所の窓口だけでなく、行政機関を含めた苦情窓口を必ず保護者にご案内するようにしております。	はい…88% わからない…12%	今後は契約時だけでなく、保護者会などで周知出来るようにしていきます。
8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	言葉がけだけでなく、視覚支援カードや手話、マカトンサイン等を使用し、視覚的に理解しやすい方法で意思疎通や伝達を行っています。保護者への連絡については、日々の連絡帳やお便り等の文書、電話などでお伝えしております。	はい…100%	今後も継続して取り組んでいきます。また、今後はICTの活用なども視野に入れ検討していきます。
9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回お便りを発行し、文章だけではなく写真を盛り込んだ形で活動内容の報告や、今後の行事予定、各種書類についてのお知らせ等を掲載しています。	はい…96% わからない…4%	今後も継続して取り組んでいきます。また、今後はICTの活用なども視野に入れ検討していきます。

	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	事業所建物の施錠だけでなく、書庫にも施錠を行うなど嚴重に取り扱っています。また取り扱いについては、契約時に保護者に説明し、書面でも同意を頂くようにしております。また写真の取り扱いについても、事前に同意を頂くようにしております。	はい…100%	今後も個人情報の取り扱いについては、十分に配慮し対応していきます。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定済です。マニュアルについては、職員に研修を行い周知徹底しております。保護者への周知については、緊急対応マニュアルとして、様々なマニュアルの内容を網羅したものを作成し、全ご家庭に配布させて頂いております。	はい…96% どちらともいえない…4% ・ラミネートされたマニュアル(緊急対応マニュアル)が助かる。	今後もマニュアルの周知徹底が出来るよう、継続して取り組んでいきます。また、社会情勢により変更が出る場合には、都度マニュアルを更新・周知出来るよう取り組んでいきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	子ども達が避難できる力を身につけるため、日々の活動の中に集団行動を取り入れ、避難時にスムーズに行動出来るよう取り組んでいます。また昨年度から様々な災害を想定し、年5回避難訓練(水害・火災・地震・防犯等)を実施しています。火災避難訓練では通報訓練など消防署にもご協力頂き、アドバイスを頂きながら実施致しました。今年はコロナの関係で毎年児童と指導員で体験学習していました加古川防災センターでの地震体験・煙避難体験・消化体験は実施出来ておりません。	はい…100% ・いつもありがとうございます。今後も取り組みお願いします。	今後も様々な災害に対応出来るよう、多様な災害を想定して訓練を実施していきます。また、その内容を連絡帳等を通して報告していきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	毎年必ず研修計画に盛り込み、虐待防止研修を実施しています。研修には従事者が積極的に参加し、虐待防止に努めるようにしています。また、日々の振り返りや会議等で、話し合う機会を意識的に持つようにしています。		今後も社内外の研修等に積極的に参加し、全従事者で日々意識を持って適切な対応が出来るよう取り組んでいきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ケース会議等で事例を検討し、やむを得ず身体拘束を行う際には放課後等デイサービス計画に記載するようにしています。また、保護者に計画への同意を頂く際に、その内容を丁寧に説明し同意を頂くようにしています。		今後も継続して取り組んでいきます。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時のアセスメントや放課後等デイサービス計画の面談時に、アレルギーの有無や対応方法を必ず保護者に確認しています。その後、個別の緊急対応マニュアルを作成し、保護者の確認のうえ、職員に周知徹底しております。エピペン持参の児童については、通所時必ずエピペンの確認を行っております。		今後も保護者にご協力頂き、個別の緊急対応マニュアルを更新する等、継続して取り組んでいきます。

	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった時には、振り返りなどで職員全員で把握し今後の支援に活かすようにしています。また事例集を作成し、社内3事業所合同で研修会を行い、日々の支援に活かせるようにしております。		今後も安全安心に過ごせるよう、ヒヤリハット事例集を更新し取り組んでいきます。
満足度	1	子どもは通所を楽しみにしているか	放課後を児童・指導員共に楽しく過ごし、「できた」経験を増やしていこうと日々プログラムを工夫しています。制作や学習、訓練だけではなく、サーキット遊びやボウリング遊び等の身体活動や、クッキングや音楽療法なども取り入れ活動しております。	はい…92% どちらともいえない…4% わからない…4% ・毎回とても楽しみに喜んで行っています。	今後も活動プログラムを工夫し、安心して楽しい放課後を過ごせるよう取り組んでいきます。また感染症対策にも継続して取り組んでいきます。
	2	事業所の支援に満足しているか	毎月のケース会議だけではなく、支援前の打ち合わせや支援後の振り返りでは、児童一人ひとりの発達特性について理解を深められるよう意見交換をしております。また児童に変化が見られた時には、連絡帳やお電話、送迎時に保護者にお伝えし情報共有できるようにしております。	はい…100% ・とても満足しています。 ・楽しい活動だけでなく、将来の就労に向けての作業などの取組を年齢に応じてなさっていることが、とてもありがたいです。ありがとうございます。	今後も一人一人の発達を理解し、子ども達の成長に繋がられるよう、様々な経験を共に重ねながら継続して支援していきます。また学年に応じ、作業訓練なども継続して取り入れていきます。